

出雲市の財政状況

市では、これからも持続して安定的な財政運営ができるように
「出雲市財政計画(2025～2034年度)」を作成しました。
 この計画を一つの指針として、毎年度の予算を編成していきます。
 ここでは、計画の基本方針4項目についてご紹介します。

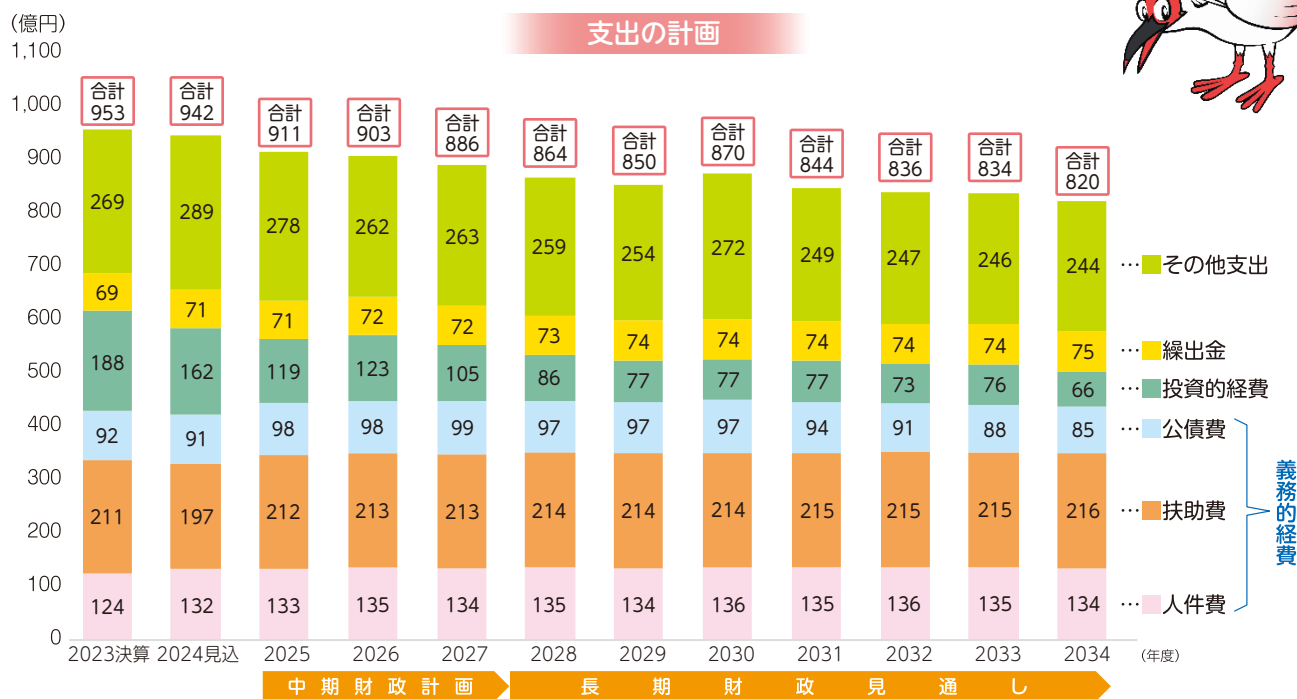
①「お金の使い道ってどうなるの？」

出雲市の財政状況について家計に例えてみましょう。

「予算」とは何にいくら使うのか計画することです。家計と一緒に収入より支出が多いと赤字になります。

方針① 歳出規模の抑制

財政力(収入)に見合った歳出(支出)規模として、期間後半は800億円台前半の規模となるように計画しました。



【人件費】 職員の給与や手当、議員に支払われる報酬などの経費
【扶助費】 子どもや高齢者、生活困窮者などを支援する経費
【公債費】 借金を返済するための経費(元金と利子)
【投資的経費】 道路や学校、公共施設の整備などの経費
【繰出金】 国民健康保険事業などの特別会計に支出される経費
【その他支出】 維持補修費など上記以外の経費

キーワード

「義務的経費」ってなに？

人件費・扶助費・公債費の3つの経費のこと。支払う「義務」があるので、家計が苦しくても支払わなければならない経費。

投資的経費は、2027年度まで100億円を超えていますね。

小学校の長寿命化や行政センター整備といった大規模事業が予定されているからです。

「義務的経費」のうち扶助費は増えていきますね。

公債費は減少傾向でしたが2025年度から2031年度にかけていったん増えますね。

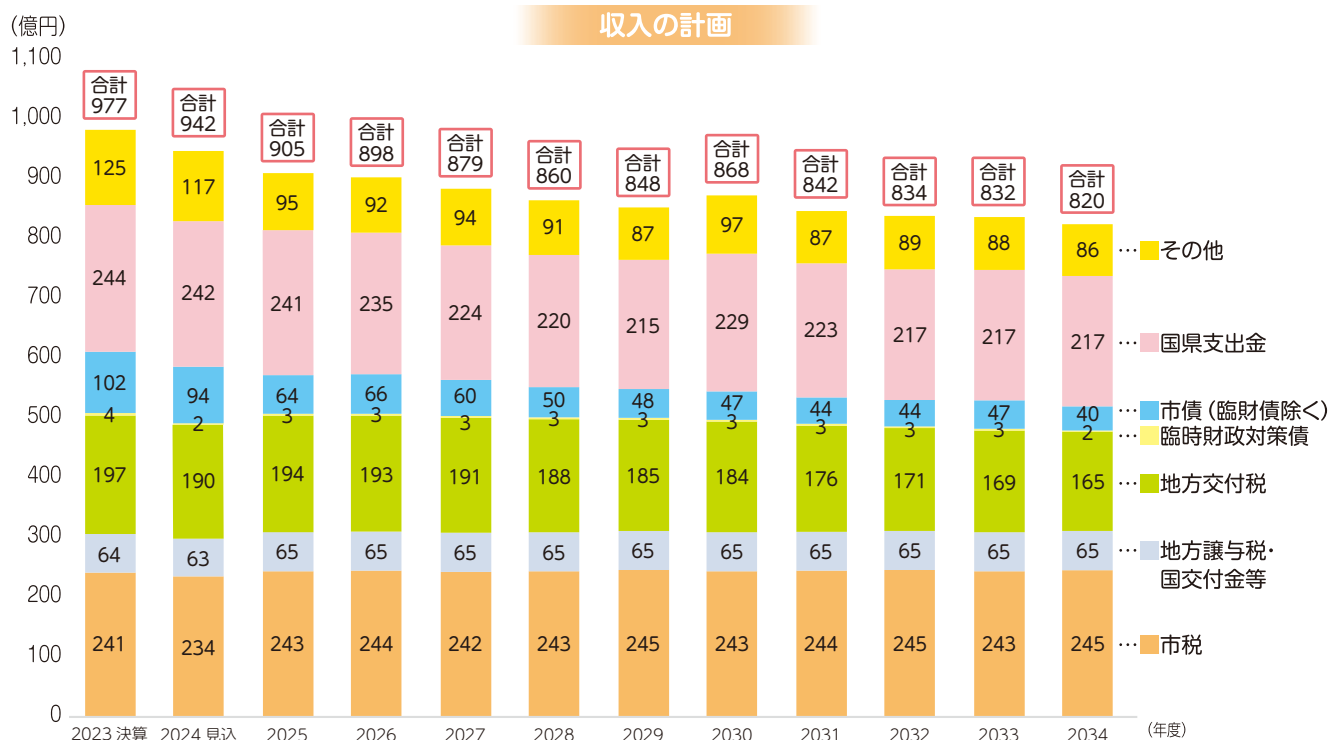
子育てで支援や障がい者支援などの社会保障の充実によって増えています。

近年整備した大型施設にかかわる借金を返済するからです。

② 「支出と収入のバランスが大事」



支出と収入のバランスを取って、計画を立てていくことが大事です。

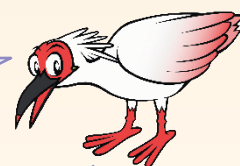


- 〔市 税〕 市民税、固定資産税、都市計画税など
- 〔地方交付税〕 全ての自治体で一定の行政サービスを提供できるように、自治体間の財源の格差を調整するため一度国が集めた税金を自治体に再分配しているもの
- 〔臨時財政対策債〕 国の予算の都合により本来地方交付税として配分されるべき額の不足分を自治体が直接借金をして調達するもの
- 〔国県支出金〕 国や県から使い道を指定して配分されるお金

市の収入ベスト3(2025～2034の合計)

- 第1位 市税 (28.4%)
 - 第2位 国県支出金 (26.1%)
 - 第3位 地方交付税 (21.5%)
- ※臨時財政対策債を含む。

収入は市税が一番多く、市の収入の4分の1以上を占めていますね。



地方交付税(臨時財政対策債を含む)としてもらえるお金が、10年後には25億円減るんですね。

10年間で合計約32億円の赤字になる見込みです。

収入が限られているなかでやりくりしていかないといいですね。

交付税措置のある公債費の支払いが減るため、もらえる地方交付税の額も減っていきます。また、地方交付税は、人口や税収の増減によっても、もらえる額が増減します。

●収支の状況

年度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	合計
収入	90,464	89,790	87,895	86,022	84,826	86,770	84,202	83,368	83,207	82,028	858,572
支出	91,142	90,320	88,551	86,373	85,042	87,026	84,365	83,582	83,374	81,962	861,737
収入－支出	△678	△530	△656	△351	△216	△256	△163	△214	△167	66	△3,165

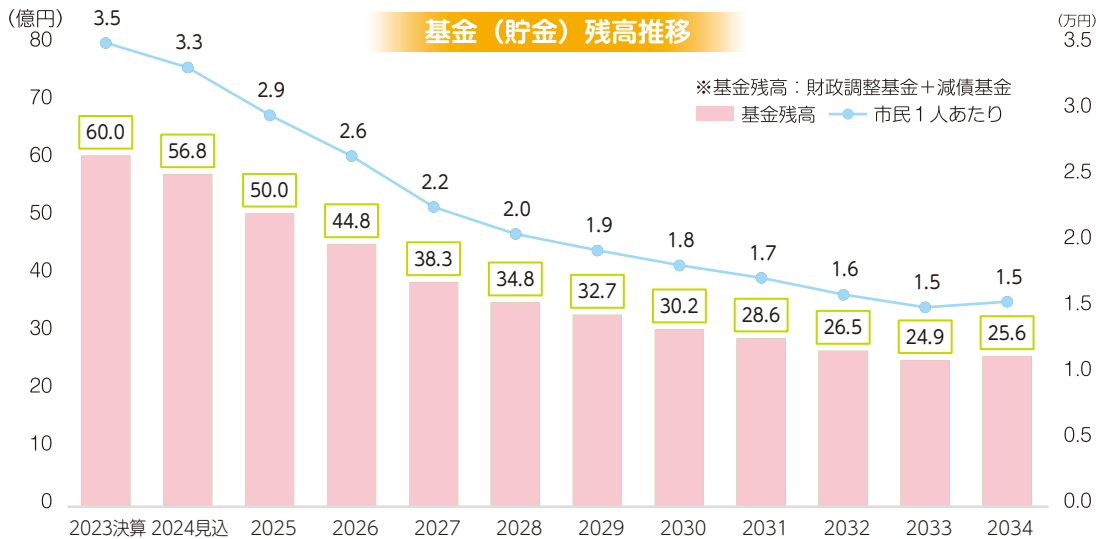
③「どれだけあるの？出雲市の貯金」



毎年の赤字を貯金でまかなっていきから、貯金が減っていきます。

方針② 基金残高の確保

基金（貯金）で収支の不足をうめながら、将来的に基金（貯金）がなくなることがないように、最低でも基金残高 20 億円以上を確保するように計画しました。



キーワード

「財政調整基金」
災害の発生による緊急的な支出の増加や不況による税収減など財源不足を補うための貯金

「減債基金」
毎年の借金返済額が財政運営を圧迫しないように計画的に借金を返済するための貯金

④「どれだけあるの？出雲市の借金」

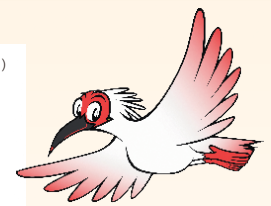
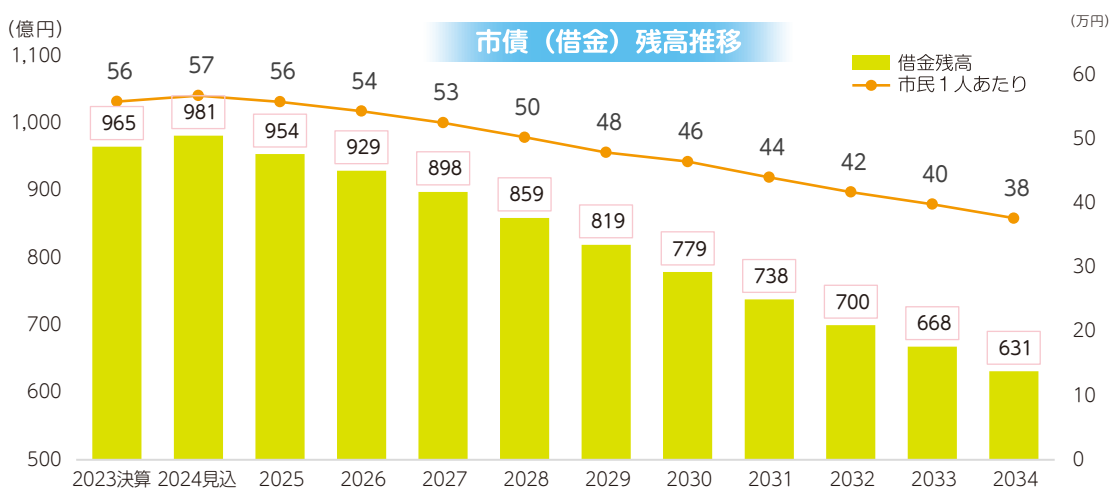


2025年度以降、借金は減っていきます。

方針③ 市債残高の縮減

合併後、ピーク時には 1,485 億円（2008 年度）あった借金は、ピーク時の約 2/3 まで減りました。

引き続き、新たな借金の抑制などを行い、計画の最終年度には 600 億円台前半まで減らすように計画しました。



どうして借金をするんですか？



道路や学校などの公共施設を建設するときには、一時的に多くのお金が必要となります。これをその年の収入だけでまかなってしまうと他の行政サービスが十分にできなくなってしまいます。また、道路や学校などは、今後何十年も使うものなので、借金をして分割払いをすることで、今住んでいる市民だけでなく、将来施設を利用する市民も含めて負担を平準化しています。

⑤ 「出雲市の財政って大丈夫？」



健全化指標（自治体の財政運営の健全性の度合いを示す全国共通の「ものさし」のこと）をみてみましょう。

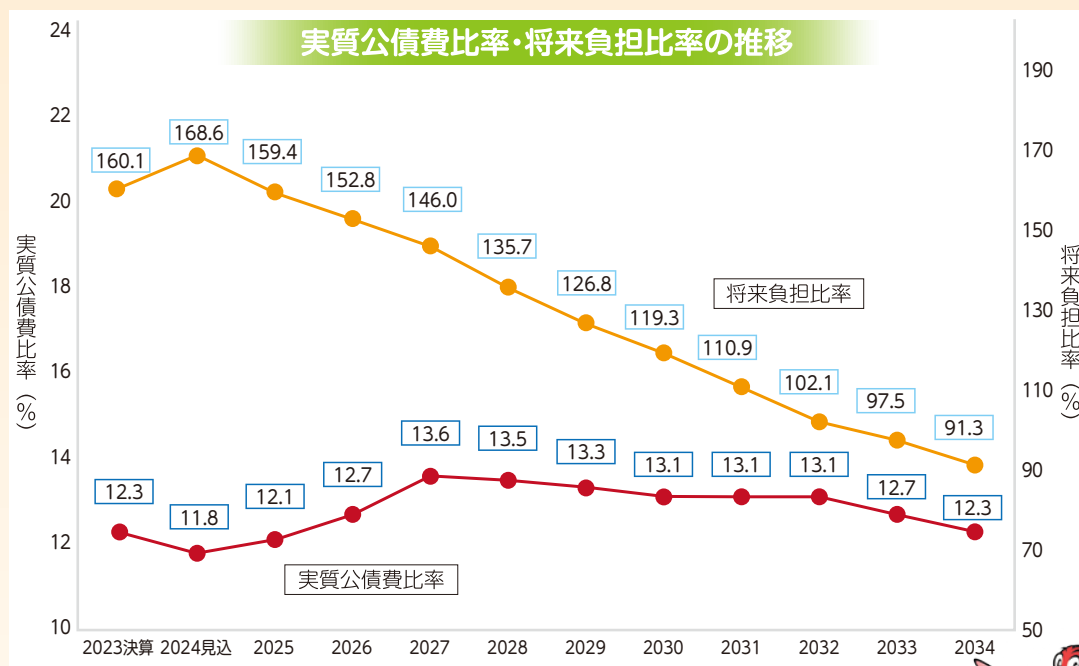
方針④ 健全化指標の改善

計画の最終年度の 2034 年度には、財政の健全化を示す数値である実質公債費比率を 12% 未満、将来負担比率を 100% 未満になるように計画しました。

●山陰12市の状況は？（2023年度決算公表値）

区分	出雲市	松江市	浜田市	益田市	大田市	安来市	江津市	雲南市	鳥取市	米子市	倉吉市	境港市	12市平均	全国平均
実質公債費比率	12.3	9.5	10.5	10.1	10.8	12.4	10.8	11.2	8.8	8.7	7.7	10.2	10.3	5.6
将来負担比率	160.1	63.3	6.3	66.7	65.5	78.3	53.6	92.1	65.0	45.4	42.4	92.2	69.2	6.3

新しい体育館などの建設により、一旦悪化するものの、その後は改善していきませんが、全国平均や山陰 12 市の平均と比べて比率は高いです。比率が高いのは、インフラ整備を積極的に進めてきた結果であるとも言えます。



キーワード

～家計に例えると～

「実質公債費比率」

家庭の 1 年間の収入に対する年間の借金返済額がどのくらいの割合かを示す比率

「将来負担比率」

家庭の 1 年間の収入に対して将来支払っていく借金の残額がどのくらいあるのかを示す比率

※どちらも数値が高ければ高いほど厳しい状況にあるといえます。

将来負担比率は、2033年には100%を切りますが、実質公債費比率は、計画最終年度でも目標に届きませんでした。引き続き、改善に向けた取組が必要です。



財政計画の まとめ

これまで行財政改革の取組などを実施してきた結果、健全化の指標は改善傾向にありますが、他団体と比べると依然として高い状況が続きます。

次世代につなぐ持続可能な財政運営を実現するため、総合振興計画「出雲新話 2030」の重点施策に予算を優先的に配分するとともに、2023 年度 (R5) に策定した行財政改革大綱及び行財政改革実施計画の方針に基づく取組を、引き続き推進していきます。



財政部財政課

電話: (0853) 21-6608 FAX: (0853) 21-6518
電子メール: zaisei@city.izumo.shimane.jp

※出雲市財政計画及び財務書類(地方公会計)は、
出雲市ホームページで公開しています。



財政計画



地方公会計



令和7年3月